

## I 教育計画

### (1) 教育指導の基底

憲法、教育基本法及び諸規定を基盤にして、佐賀県や嬉野市の教育方針に基づき、生徒の実態に基底をおき本校教育を推進する。

### (2) 学校経営の基本方針

- ① 生徒の良さを引き出し、それを生かした教育活動
- ② 学ぶ楽しさと継続した学び
- ③ 地域とともに歩む学校

### (3) 学校教育目標・スローガン

#### 【学校教育目標】

「心豊かに ともに 伸びる」

- ・心豊かに：豊かな人間性と社会性・・・他人を思いやる心・感動する心・あきらめずに問題を解決する意志  
(感謝する心・感動する心・思いやりの心・素直な心・不屈の心)
- ・ともに伸びる：生徒が仲間とともに・教師とともに・保護者・地域とともに、教師が同僚とともに  
能力的な成長（学力）と精神的な成長（人間性・社会性）

#### 【学校スローガン】

「知性を磨き 心を耕し 体を鍛える」

- ・知性：将来の夢や目標を持ち、自ら考え、学び続ける生徒
- ・心：人を思いやり、つながりを大切にできる生徒
- ・体：目標に向かって努力し、困難に立ち向かう強さをもつ生徒

#### 【めざす生徒像】

- ・仲間とともに切磋琢磨し伸びようとする生徒
- ・将来の夢や目標を持ち、自ら考え学び続ける生徒
- ・人を思いやり、つながりを大切にできる生徒
- ・目標に向かって努力し、困難に立ち向かう強さを持つ生徒
- ・郷土を愛し、自分の学校や地域を誇りに思う生徒

#### 【学習指導の重点】

「自主的な学び」： 問い・対話・振り返り

#### 【生徒指導の重点】

「自主的な行動」： 認める・支える・高める

### (4) 令和8年度の重点目標

- ① 生徒が安心感をもって一日を過ごすことができる学校
  - ・お互いの個性を認め合い、安心して授業や学校生活を過ごすことができるようにする。
  - ・生徒の可能性を伸ばす教育活動を実践する。自己存在感を与え、共感的な人間関係を育成し、自己決定の場を提供していくために教師が仕組む。

・教職員がやりがいを持って教育活動を行うために、同僚性の高い職場環境を整える。

② 対話を通し、人との関わりがある学校生活

・生徒同士の関わり、生徒と教職員との関わりを通して、共感的人間関係を育む教育活動を実践する。

③ 学校と家庭、地域との連携

・学校と家庭、地域の役割を確認し、連携して生徒の成長を支える。

(5) 具体的重点項目

① 学力の向上

○先生が教える授業から生徒が自ら学ぶ授業へ

・主体的・対話的で深い学び（個別最適な学習と協働的な学習）の実践

・「嬉野メソッド」を柱とした、わかる授業づくり

めあてをつかむ・学習の方向性をつかむ・自分で考える・友だちと考えを伝え合う・めあてに戻りまとめる

② 心の教育の推進

○一人一人の良さを伸ばし、成長を促す教育活動

・安定した心のあり方、気持ちのぶれが少ない日常生活に向けての支援

③ 不登校生徒の対策

○お互いの個性を認め合い、安心して学校生活を過ごせる環境づくり

・心の不調の早期発見・早期対応と予防的な指導

・安心して過ごせる居場所づくり

・自立に向けた支援と家庭へのサポート

・教育相談員、不登校対応支援員、SC、SSW、外部機関等の活用と連携

④ 地域とともにある学校づくり

○地域を学び、地域の良さを理解する教育活動

・学校運営協議会を核とした地域ぐるみの学校づくり

・地域の教育資源（地域人材、歴史的建造物等）を活用した授業の実践

・PTA・家庭、関係諸団体、福祉・行政機関等との連携

※ 教師の役割・仕事・・・生徒の良さ、可能性を伸ばす → 生徒の人生に良い影響を与える